

新潟県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

選抜概要

- 新潟県の公立高校入試は特色化選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志望変更期間	入試日	合格発表日
特色化選抜	2/3(月)～5(水)	－	2/12(水)	2/14(金)
一般選抜	2/19(水)～21(金)	2/26(水)～28(金)	3/5(木) (独自検査3/6)	3/13(金)
2次募集 (欠員補充)	3/18(水)・19(木)	－	3/23(月)	3/24(火)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。
- 入学予定者数が募集定員に満たなかった場合は、欠員補充のための2次募集を実施します。
- 新潟県立・新潟市立高校の通学区域は、県内一円です。

特色化選抜

- 特色化選抜とは、スポーツ活動、文化活動及び科学分野の活動等に秀でた実績があり、各学校の特色ある教育の推進に中心的な役割を果たすことが期待される者が対象となります。

対象となる具体的な分野・種目においての該当実績は学校内外の活動を問いません。

●選抜資料

面接	個人面接
調査書・推薦書	各教科の学習の記録（評定） 1～3年（中学3年間）の9科（5段階評価）が対象 ※中3は12月末日までの成績
その他の検査	実施・内容については各学校に委ねられる ※実技、PRシートや作文 [2020年度入試実績] 実技 － 新潟中央[音楽] 実技 PRシート・作文 － 新潟西[普通], 吉田[普通], 八海[普通], 上越総合技術[工業]

- 上記の資料を用いて、総合的に審査をして合格者を決定します。
- 特色化選抜は追検査は実施しません。
- 特色化選抜の結果、合格通知を受けなかった受検生は、特色化選抜で志願した学科・学校を含めて、一般選抜を受験できます。

一般選抜①

- 入学者選抜を実施するすべての学校、学科で実施されます。
募集人員は特色化選抜の合格内定者を除いた人数となります。

●選抜資料

学力検査	国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各100点） 学校・学科によって傾斜配点（2倍とする）を行う場合あり
学校独自検査	次のうちいずれかにより実施，学校・学科により複数選択可 ・面接，PRシート，実技，課題作文，筆答検査，その他の検査 ※筆答検査を行う学校は「検査A(60分)」又は「検査B(45分)」を一斉に実施
調査書	各教科の学習の記録（評定） 1～3年（中学3年間）の9科（5段階評価）が対象 ※中3は調査書作成時までの成績

- インフルエンザ等の感染症や負傷などのやむを得ない事情により，一般選抜を欠席した場合，追検査を受けることができます。

一般選抜②

●選抜方法

下記の方法で作成した「総合得点表」を主な資料とし，これに各教科の学習の記録以外の「調査表」の記載事項を併せ，総合的に判断し入学者を決定します。

<総合得点表算出方法>

●学校独自検査を実施しない学校，学科

まず，調査書の「各教科の学習の記録」（3年間の9科×5段階評価）の数値の合計を「学習の記録の合計」とします。（＝135点満点）

これを1000満点に換算し，小数第2位を四捨五入して，その値を「学習の記録の換算点（b）」とします。

$$\text{【 } b = (\text{学習の記録の合計}) \div 135 \times 1000 \text{ 】}$$

次に，「学力検査の合計」を1000点満点に換算し，小数第2位を四捨五入して，その値を「学力検査の換算点（c）」とします。

$$\text{【 } c = (\text{学力検査の合計}) \div (\text{学力検査の満点}) \times 1000 \text{ 】}$$

そして，次の式に当てはめて総合得点（a1）を出します。

$$\text{【 } a1 = \alpha \times b + \beta \times c \text{ 】}$$

α と β は各学校・学科が定めた，調査書と学力検査の比重の置き方となり， $(0.7, 0.3) \sim (0.3, 0.7)$ の5つのいずれかとなります。

●学校独自検査を実施する学校，学科

上記の方法で算出したa1に，学校独自検査d（満点は100点～500点のいずれか）を加えて，以下の総合得点（a2）を算出します。

$$\text{【 } a2 = a1 + d \text{ 】}$$